

1P42

新型コロナウイルス感染拡大予防のための行動変容時期における「子どもマスク」への関心度とその影響要因に関する時系列分析顧 艶紅¹、李 理心²、橋本 英樹³¹大阪医科大学²国家公務員共済組合連合会虎の門病院皮膚科³東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻保健社会行動学分野**【背景と目的】**

COVID-19の感染拡大の予防策として、「手洗い、咳エチケット、マスクの着用、3密回避など」の行動変容が求められてきた。2020年の前半にフェイク情報によってマスクの買い占めと品切れが社会問題となったと同時に、子どものマスクの着用についてコンセンサスも得られていなかった。本研究の目的は2020年の日本における「子どもマスク」への関心度とメディア報道した出来事と感染状況との関連を明らかにするものである。

【方法】

日本語の「子どもマスク」をキーワードとしてGoogle trendで検索し、日本における2020年1月1日から2021年2月6日までの人気度指数を「子どもマスク」への関心度とした。更に、NHKなどの主なメディアが報道した同時期の新型コロナウイルス感染の対策の出来事、感染者数、関連死亡者数や全国の学校の状況に関する出来事を検索した。報道された出来事と「子どもマスク」への関心度のピーク（人気度指数25以上）になった時との関連を検討した。さらに、2021年2月6日現在、同じキーワードである「子どもマスク」で遡って、この5年間の人気指数を検索してみた。

【結果】

2020年9月まで全国のほとんどの学校が休業してから段階的再開をした期間で、1月から9月まで7つの大きなピークが見られ、首相や厚生労働省の関連発表があった時と重なっていた。9月以降は学校が全面再開した期間で、4つの小さいピークが見られ、感染者数や死亡者数の増加がみられた週に重なっていた。さらに、2021年2月6日現在、同じキーワードである「子どもマスク」で遡って、過去5年間検索した結果、やはり2020年1月から9月までの期間中だけ、大きなピークが見られた。また、「児童マスク」、「小学生マスク」と「学童マスク」といったキーワードでGoogle trendで検索したものの、結果は得られなかった。

【考察】

本研究は新型コロナウイルス感染拡大と予防の期間中に、「子どもマスク」の情報が求められていること、さらに2020年の前半には政府関連の発表、2020年後半には現実的な感染者数と死亡者数の増加と関連し、「子どもマスク」の関心度が高まったことが明らかにした。